

平成二十七年年度 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題  
(中国哲学史)

※解答は答案用紙を横(受験番号欄を右位置)にして、縦書きで記しなさい。

一、次の項目から五つを選び、知るところをそれぞれ三〜四行で記しなさい。

- ①顔回 ②王弼 ③張載 ④顧炎武 ⑤嚴復 ⑥伊藤仁斎  
⑦老子河上公注 ⑧神仙伝 ⑨道蔵 ⑩四書大全 ⑪天人の分  
⑫黄白術 ⑬内丹思想 ⑭理氣論 ⑮功過格

二、道家・道教の升仙思想・養生思想について、具体的に論述しなさい。

三、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。(『莊子』による)

肩吾問於連叔曰、「吾聞言於接輿、大而無當、往而不反。吾驚怖其言、猶河漢而無極也、大有逕庭、不近人情焉。」連叔曰、「其言謂何哉？」曰、「藐姑射之山、有神人居焉、肌膚若冰雪、淖約若處子、不食五穀、吸風飲露。乘雲氣、御飛龍、而遊乎四海之外。其神凝、使物不疵癘而年穀熟。吾以是狂而不信也。」連叔曰、「然、瞽者無以與乎文章之觀、聾者無以與乎鍾鼓之聲。豈唯形骸有聾盲哉？夫知亦有之。是其言也、猶時女也。之人也、之德也、將磅礴萬物、以為一世蕲乎亂、孰弊弊焉以天下為事！之人也、物莫之傷、大浸稽天而不溺、大旱、金石流、土山焦而不熱。」

四、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。

(朱熹『徽州婺源縣學藏書閣記』による)

道之在天下、其實原於天命之性、而行於君臣・父子・兄弟・夫婦・朋友之間、其文則出於聖人之手、而存於易・書・詩・禮・樂・春秋・孔孟氏之籍。本末相須、人言相發、皆不可以一日而廢焉者也。蓋天理民彝、自然之物、則其大倫大灋之所在、固有不依文字而立者。然古之聖人欲明是道於天下而垂之萬世、則其精微曲折之際、非託於文字、亦不能以自傳也。故自伏羲以降、列聖繼作、至于孔子、然後所以垂世立教之具、粲然大備。天下後世之人、自非生知之聖、則必由是以窮其理、然後知有所至而力以終之、固未有飽食安坐、無所猷爲而忽然知之、兀然得之者也。